

文安二年八月四日 右衛門尉忠光 在判

八月廿八日。幕府、攝津滿親をして、富樫泰高代山川近江守の加賀入國を援けしむ。

【美吉文書】 武藏 八六四

富樫介泰高代山川近江守加賀國入部事、早令合力、可被致忠節之由所被仰下也。仍執達如件。

文安貳年八月廿八日 右京大夫 在判

攝津掃部頭入道殿

九月廿二日。幕府、加賀守護富樫泰高をして、山城臨川寺領加賀郡大野莊に白山宮段米の催促を停めしむ。

【臨川寺文書】 山城 八六五

臨川寺領加賀國大野庄白山段米事、早任度々御判以下證文、可停止催促之旨、可被相觸之由、所被仰下也。仍執達如件。

文安二年九月廿二日 右京大夫 在判

富樫介殿

十二月廿七日。幕府、狩野家澄をして、富樫泰高代に合力せしむ。

【慶元諸大名直判集】 八六六

富樫次郎并本折以下退治事、不日令合力泰高代、可被致忠節之由、所被仰下也。仍執達如件。

文安二年十二月廿七日 右京大夫 在判

攝津掃部頭入道殿

三月廿七日。幕府、佐々木彌五郎をして富樫泰高代の加賀入國を援けしむ。

【朽木文書】 八六七

富樫次郎并本折已下對治事、不日令發向、合力泰高代、可被致忠節之由、所被仰下也。依執達如件。

文安三年三月廿七日 右京大夫 在判

佐々木朽木彌五郎殿

七月十日。幕府、狩野家澄をして、富樫泰高に合力せしむ。

八六八

【秘府所藏文書】 富樫次郎并本折以下治罰事、被仰富樫介泰高訖。早合力泰高、可被抽忠節之由、所被仰下也。仍執達如件。

七月十日 右京大夫 在判

七月十日。幕府、攝津滿親をして、富樫泰高に合力せしむ。

八六九

【美吉文書】 武藏 富樫次郎并本折以下治罰事、被仰富樫介泰高訖。早合力泰高、可被抽忠節之由、所被仰下也。仍執達如件。

文安三年七月十日 右京大夫 在判

十月二日。能登守護畠山義忠、彌郡時賀に鳳至郡大澤村黒杉分を安堵せしむ。

【筒井文書】 鳳至郡 能登國大澤村之内黒杉分事 此内屋敷貳ヶ所上大任當知行之旨、彌郡丹内左衛門尉時賀領掌、不可有相違之狀如件。

文安三年十月二日 在判

十月二日。能登守護畠山義忠の奉行人忠光、氷室兵庫入道をして、筒井佐渡入道に料所鳳至郡山田村内上村分下地を交付せしむ。

八七一

【筒井文書】 鳳至郡 御料所山田村内上村分事、於御代官職者追而可被定置候。至當御年貢以下者、先可致執沙汰之旨、被仰付筒井佐渡入道に、早可渡付旨下地於由候也。仍執達如件。

文安三年 十月二日 忠光 氷室兵庫入道殿

文安四年 丁卯 紀元二一〇七 十二月廿七日。深井彈正忠、珠洲郡高座宮別當